



大阪南東ブロック 天王寺支部
昭和交易（株） 山元 茂弘

真田幸村が築いた城下町「玉造」は現在、真田山地域の文教地区として知られています。そもそも「玉造」の由来は古墳時代にこの地域で「勾玉」が作られていたことから「勾玉作り」、「玉造」になったそうです。月日は流れて、真田幸村が徳川勢に大打撃を与えた「大坂冬の陣」から400年が過ぎました。大坂城は上町台地の北端にあり、北側は淀川で守られていたのですが、南側は空堀程度で大坂平野からの守備が弱かったため、現在の大阪明星学園から宰相山公園あたりに真田丸（出城）を設け大坂城の南側の守りを固めました。周りは武家屋敷で囲われていましたが、大坂冬の陣で焼失したそうです。また、もとより宰相山公園にある三光神社から大坂城に通じる抜け穴を掘ったことでもよく知られています。現在も三光神社の抜け穴は残っており、幸村の勝利になぞらえてお守りが勝守として信心されています。



真田丸城址



真田幸村公の像



玉造駅はJR西日本の前身である大阪鉄道が明治28年にひいた天王寺、玉造間の路線の終着駅としてできました。現在では環状線の一部になりましたが、地下鉄（長堀鶴見緑地線）にも玉造駅ができています。天王寺支部の昭和交易（株）山元支部長は卸専門店で

商品を扱っていたのですが、6年程前、奥様の生まれの地である玉造に雑穀店を開業しました。奥様の記憶にある玉造境界は多くの方が行き交う通りだったようですが、店主の高齢化などでシャッターを下ろした店が目立っていました。そこで、山元さんたち近隣のお店が協力し合って由緒正しき玉造駅の西側に城へのアプローチ「幸村ロード」と命名し、名乗りをあげました。全長が100メートルの通りの両側にお店が点在しています。



各店には幸村や幸村に仕えていた家臣「真田十勇士」の人形パネルを店頭で設置して、幸村にちなんだオリジナル商品や食事メニューを設けているお店もあります。武者にふんして三光神社参拝などの企画もしたことが功を奏して知名度が上がり歴史ファンを魅了しています。今年のNHK大河ドラマで「真田丸」の放映が始まりました。「幸村ロード」が歴史に興味を持ってこの地を訪れる観光客で賑わい、さらに活気溢れるといいですね。

（取材・編集 広報部 荒田）

子どものころ少年マンガで読んだ真田十勇士。猿飛佐助、霧隠れ才蔵など講壇に出てくる架空の人物の活躍に胸を躍らせたものです。この大阪の地を舞台に新年より始まったNHK大河ドラマは、史実に基づくお馴染み戦国の将、真田幸村を主人公とする「真田丸」です。大坂冬の陣にては家康の軍勢を圧倒し東軍危うしとした強さ。その武士魂は誰もが好きになります。玉造「幸村ロード」ちょっと行ってみたいくなりませんか。

（編集西岡）